

平成30年度の活動と新年度にむけて

平成30年5月27日総会后、設立15周年記念行事を椿山荘で諸先生方を招待して開催いたしました。その折、記念品として本会制作のオリジナル薬膳シート7枚セットを出席者に配布いたしました。会員の皆さまはこの15周年を新しい出発点ととらえ積極的に事業に参加され大きな成果をあげてくださった年であったことを大変うれしく感謝しております。

2019年薬膳カレンダーは故郷の伝統料理

第12回特別講演会で配布した薬膳カレンダーのレシピと料理は、研究3・4教室の有志の方々が担当し、「伝えたい故郷の伝統料理を薬膳の視点から評価」をテーマに知識を結集した貴重な資料となりました。薬膳普及用の薬膳カレンダーの販売には全会員の協力により12月末に約950部を完売いたしました。収益は会の運営費として使わせていただきます。

「さんざし」は会員同志の架け橋に

会報「さんざし」は写真を多く取り入れ見て楽しめるスタイルに編集が変わってから2年ほどになります。毎月開催される各教室で真剣に講義を受けている様子や和やかな調理実習と試食風景などが手に取るように伝わってきます。阿部芳子さんの薬膳レポートは毎回興味深いテーマを詳細に分析した内容で新たな発見があります。会報さんざしは会員を繋ぐよい媒体でありますので、今後とも会員同士の架け橋としての役目を果たしてほしいと願っています。会員による会員のための「さんざし」制作に協力をお願いいたします。

ホームページは確かな情報源に

念願のホームページのリニューアルはホームページ管理部の役員を中心に作業が進められ、昨年2月リニューアルオープンすることができました。

管理栄養士・栄養士のための薬膳普及活動を開始して15年という実績をもつ本会が積極的に正確な薬膳情報を発信する使命を果たすべきではないかと考えています。本会のホームページは自分のレベルに応じて中医薬膳学の基礎知識を選択でき、またレベルアップのために必要な中医学理論と弁証に基づいた薬膳処方と薬膳レシピまでを修得できる内容になっています。ご利用いただいていますか。

海老原英子



実は皆さまと約束しました自主研究課題の薬膳料理をホームページに掲載するのが遅くなったことをお詫びいたします。今年こそたくさんの薬膳料理を紹介したいと思っております。

これからも全会員のニーズに応え、常に質の向上とキャリアアップを支援し続けるためにホームページから「行事や研修会のお知らせ」「薬膳の新情報」など役に立つ情報を発信していきたいと考えています。

中医師による研修会への参加を

30年度はアカデミー茗台と池袋産業プラザが耐震工事に入り、担当者は会場予約に苦労いたしました。本会の研修費は低廉な上にこの度の会場費の高騰と各教室とも参加者が減少した結果ほとんどの教室が赤字になってしまいました。制度の改正が緊急の課題になっています。非常に高名な先生方による3時間研修は薬膳を真摯に学びたい方にはとてもよいシステムで本会の特徴でもあります。4月からは駒込駅東口2分愛恵福祉支援財団ビルが使えるようになりました。皆さまの参加をお願いいたします。

東京栄養士薬膳研究会は会員が中心

東京栄養士薬膳研究会は2003年に栄養士のための薬膳教室を開催してから15年、それ以来、薬膳に対する関心が非常に強く純粋に学びたいという会員の皆さまの熱意が教室を支え、その力が本会の組織を盤石なものへと発展させてきました。

この度、東京都栄養士会の地域活動部会に所属する方に薬膳教室開催のチラシを配布し、4月から2クラスを開講いたします。友人で薬膳に関心を持つ方をご紹介ください。

新しい年度も一歩前進、新しいチャレンジを期待

本会には国際薬膳師や中医薬膳専門栄養士の有資格者は約200名在籍しています。学んだ薬膳の専門知識を医療、福祉、学校、事業所、地域活動など多岐にわたる栄養士活動に取り入れ、中医薬膳の効果を経験し実績を積んでいくことが、今後の薬膳専門家に求められています。また本会の使命でもあると考えています。皆さまの活躍を期待しております。